

令和4年10月14日

日本教育大学協会が学長・学部長等連絡協議会を開催

日本教育大学協会（会長＝國分充・東京学芸大学長）は、10月6日（木）、学長・学部長等連絡協議会をWeb会議にて開催し、会員大学・学部の学長・学部長をはじめ関係者約110名が参加した。

冒頭の挨拶で國分会長は、「学校教育を取り巻く状況は激しく変化しており、GIGAスクール構想も実現してきている中で、教員養成も新たな課題に向き合っている状況かと思う。『令和の日本型学校教育』を担う教師の在り方特別部会のとりのまとめも今年中に出されると聞いている。そうした中で立ち位置を同じくする大学・学部が力を合わせて立ち向かっていきたいと思う。」と述べた。続いて、國分会長が議長を務めることについて了承した。

前半の文部科学省による説明では、武藤久慶学校デジタル化プロジェクトチームリーダーからGIGAスクール構想の現状と課題について、桐生崇教育DX推進室長から文部科学省CBTシステム（MEXCBT）について、櫻井綾乃幼児教育課専門官から「大学等を通じたキャリア形成支援による幼児教育の『職』の魅力向上・発信事業」について、星匡哉健康教育・食育課課長補佐から養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上について、石田有記教育課程課教育課程企画室長から特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する指導・支援について、浅原寛子教育課程課外国語教育推進室長から「小・中・高等学校の外国語教育の充実に向けて」について、名子学スポーツ庁スポーツ戦略官、西尾佐枝子文化庁参事官（芸術文化担当）付課長補佐から部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備について、古田和之大学教育・入試課長から大学設置基準等の改正について、鍋島豊内閣官房こども家庭庁設立準備室参事官からこども家庭庁・こども基本法について、森本晋也男女共同参画共生社会学習・安全課安全教育推進室安全教育調査官から「学校安全における教員養成機関への期待」について、佐々木俊治男女共同参画共生社会学習・安全課課長補佐から消費者教育について、若林徹男女共同参画共生社会学習・安全課課長補佐から「生命（いのち）の安全教育推進事業」について、小畑康生教育人材政策課教員養成企画室長から「教員養成大学全般」について、それぞれ最新の施策説明があった。

後半は報告事項として、企画・調査研究委員会及び年報編集委員会の活動状況について、各委員会の委員長から報告があった。引き続き、8月19日に開催したシンポジウムや日本教育大学協会として出席した会議等について、議長から報告があった。また、10月1日（土）にWebにて開催された令和4年度日本教育大学協会研究集会について、当番大学の蛇穴治夫北海道教育大学長から報告があった後、令和5年度日本教育大学協会研究集会当番大学が山形大学に決定した旨、議長から報告があった。

最後に、11月19日（土）に開催予定の「第6回これからの附属学校のあり方を考える協議会」について、吉田裕亮日本教育大学協会副会長（お茶の水女子大学附属高等学校長・全国国立大学附属学校連盟理事長）から報告があった。

〈学長・学部長等連絡協議会〉



國分会長



蛇穴北海道教育大学長



吉田副会長



武藤学校デジタル化
プロジェクトチームリーダー



小畑教員養成企画室長

(事務局の様子)

